

評価報告概要表

第三者評価機関

名 称	社会福祉法人 山口県社会福祉協議会
評価調査日	平成20年2月13日(水)

福祉サービス事業者情報

名 称	日の山のぞみ苑	種 別	知的障害者更生施設
代表者氏名	施設長 渡 辺 幸 恵	開設年月日	平成16年4月1日
設置者	社会福祉法人 光 栄 会	定員(利用人数)	54名(49名)
所在地	〒755-0241 宇部市大字東岐波1451-1		
電話番号	0836-59-2411	FAX番号	0836-59-2412
ホームページアドレス	http://www.koueikai.net/		

総 評

全体を通して(事業所の優れている点、独自に工夫している点など)

特に評価の高い点

建物は新しく、居室は個室でプライバシーが確保され、視察により、利用者の安定した様子から快適な居住性の確保がなされていることがうかがえました。また、利用者とのヒアリングにおいては、直接処遇職員が利用者へ個別に真摯に対応されている様子を聞きとることができ、資質の高い職員の配置を垣間見ることができました。

地域との交流においては、海岸掃除、草刈への参加、地域行事への出席(なるこ踊り、駅伝大会)等利用者地域住民との交流が積極的に行われており、このことは利用者とのヒアリングにおいて、楽しみや誇りになっていることが汲み取れました。特に、なるこ踊りは利用者の楽しみであり評価に値する取り組みです。

利用者の特性に配慮し、ユニット対応での処遇がなされており、良質な個別サービスに努力されていることがうかがわれました。また、ユニットごとに広報誌(フロアー便り)の作成がなされており、ユニットの特徴が記載される等利用者の個性に応じたわかりやすい内容であることは評価に値します。3階ユニットでは自炊設備が完備され、調理実習等が可能であり、利用者配慮したよりよい設備が確保されています。人員配置上の問題から現在は保留されていますが、利用者による朝食作りを再開し、よりよい設備を日常生活の場として積極的に活用され、さらなる利用者主体のサービスが確立されることを期待します。

改善を求められる点

管理者等とのヒアリングにおいて、経営・人事は法人本部が行っているとのことですが、利用者等とのヒアリングにおいて、利用者の意向・職員の意見を反映させる仕組みづくりが不十分と判断しました。近日、「策定委員会」を設置したとのことですが、利用者、職員の意向が十分に反映されることを期待します。

特に経営・人事が法人本部で行われている状況にあるため、職員の育成、利用者へのサービスの質の向上をどのように行うか、本部に働きかけることが重要になります。ヒヤリハット事例では、同事項が数回記載されている等が見受けられましたが、問題解決に向けた取り組みが必要です。

職員への教育・研修は実施されていますが、基本姿勢の明示がなく、個別・具体的な研修計画が策定されていません。利用者への質の高いサービスの提供を行うには、法人の求める職員像を明確にし、資格取得、研修等を個別・具体的に実施することが必要です。また、確立された人事考課についても、施行により質の高いサービスの提供や職員処遇の向上につながることを示唆し、職員の理解を得る努力が必要と考えられます。

障害者自立支援法への移行計画はあるのですが、中・長期計画の策定がなされていません。理念や基本方針の実現に向けた目標を明確化し、目標を達成するための具体的な計画の策定が必要です。

第三者評価結果に対する事業者のコメント・事業所のPR

利用者の健康と安全・安心を確保し「その人らしい人生」が実現できるよう個別に配慮した支援、地域生活移行に向けた支援を目指しています。今回、第三者評価を受審したことにより、いろいろな課題が見えてきました。これを全職員で検討し、改善を計っていきたいと思います。利用者・家族に満足していただける良質なサービスの展開や施設運営に努めたいと思います。

評価報告概要表

評価分野別評価結果(分野別の特記事項)

福祉サービスの基本方針と組織	a	3	b	7	c	2	Na	0
<p>障害者自立支援法施行の過渡期において、中・長期計画の策定は困難とは思われますが、理念や基本方針の目標の実施に向けた中・長期計画を策定することが必要です。</p> <p>また、計画の策定については、組織として利用者の意向、職員の意見を汲み取る仕組み、評価・見直しの手順を確立することも必要です。法人が各種福祉サービス事業を運営している実態に鑑み、より質の高いサービスの提供を行うためにも、施設長を中心に利用者等の意見を反映できる体制づくりが望まれます。</p>								

組織の運営管理	a	5	b	11	c	6	Na	0
<p>地域福祉の向上については、施設機能の開放、ショートステイ、体験学習、配食サービス等が積極的に行われており、地域との連携・交流は、ほぼ確保されています。特に地域行事への積極的な参加（なるこ踊り、駅伝大会）は評価に値します。</p> <p>人材の確保・育成、職員の資質の向上については、法人として必要な人材や人員体制を明確にし、個別具体的な研修プランを確立するなど組織としての取り組みが必要です。職員の資質の向上に向けた取り組みは、職員参画のもとに改善策を一考されるとさらに現実的な対策が確立されると思われま</p> <p>安全管理については、マニュアル、委員会等体制整備は確立していますが、リスクに対する現実的対策を確立する仕組みづくりが必要です。</p>								

適切な福祉サービスの実施	a	10	b	11	c	1	Na	0
<p>適切なサービスの実施については、各種マニュアルが整備され、手順に沿って実施されています。しかしながら、評価・見直しの手順が確認できないことから、現状より低い評価となっています。</p> <p>今後は、評価・見直し、実施後の分析・課題の検討等を行い、より質の高いサービスが提供されるよう、また、「利用者満足のためのアセスメント」の考え方を再考され、さらなる利用者の満足に取り組まれることを期待します。</p>								

良質な個別サービスの実施	a	20	b	10	c	1	Na	3
<p>良質なサービスの実施については、個室、ユニット処遇がなされ、環境的によく整えられており、利用者とのヒアリングにおいても満足と誇りを汲み取ることができました。個別サービスに対する取り組みの努力は評価に値します。</p> <p>今後は利用者のエンパワメントの視点として「今のパワーを将来の人生に活かしていく視点」を推進されると、さらに良質な個別サービスが確立されると思われま</p>								